

# 「歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿 TOKYU MILANO 再開発計画)」 都市計画変更の決定

—歌舞伎町エリア最大規模の、まちの核となる新たな都市観光拠点を整備します—

東京急行電鉄株式会社  
株式会社東急レクリエーション

東京急行電鉄株式会社および株式会社東急レクリエーションは、新宿 TOKYU MILANO跡地を中心とした約4,600㎡の敷地において、「歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿 TOKYU MILANO再開発計画)」(以下、本計画)を推進しています。今般、本計画が東京圏国家戦略特別区域における国家戦略都市計画建築物等整備事業として、東京都および新宿区の都市計画審議会による審議、国家戦略特別区域会議による区域計画案の作成を経て、2018年6月14日に内閣総理大臣による認定を受け、同年6月21日に告示されました。

本計画では、エンターテインメント施設を中心に文化が育まれてきた、都内有数の観光拠点である新宿歌舞伎町エリアに、地上40階・地下5階、約225mの高層複合施設を計画しています。

多様な大衆娯楽文化を世界に発信するステージとなる劇場、ライブホール、映画館などの複合エンターテインメント施設のほか、グローバルツーリストの多様な滞在ニーズに対応するホテルや地域の社交場となるレストランなどの宿泊・交流機能を一体的に整備し、まちの核となる新たな都市観光拠点を創出します。

また、都市観光インフラとして、空港連絡バスルートの形成による歌舞伎町エリアへのアクセス性の向上や、西武新宿駅前通りおよび計画地周辺道路のリニューアル整備によるまちの回遊性とにぎわいを創出します。

あわせて、隣接するシネシティ広場と本計画が一体となった、まちのにぎわいの中心となる「屋外劇場の都市空間」を形成するとともに、シネシティ広場などの公共空間と本計画が一体となったエリアマネジメントを「歌舞伎町タウン・マネージメント」と連携して実施し、歌舞伎町全体へのにぎわいの波及を目指します。

今後は、東京圏国家戦略特別区域の特定事業として、2019年7月の着工、2022年度の竣工を目指し、計画の具体化を進めてまいります。東急グループでは、現在関係者と協力して推進している渋谷駅周辺再開発のほか、本計画の推進によって、国際観光都市としての東京の魅力向上に貢献します。

本計画の概要は別紙のとおりです。



▲大久保方面(北西側)からの眺望イメージ



▲シネシティ広場と連動したイベントイメージ  
(上:映画イベント、下:地域連携音楽イベント)

以上

(参考)この資料は本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、都庁記者クラブ、ときわクラブ、レジャー記者クラブにお届けしています

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京急行電鉄株式会社	社長室広報部広報企画課	報道担当	電話:03-3477-6086
株式会社東急レクリエーション	総務部広報課		電話:03-3462-8888

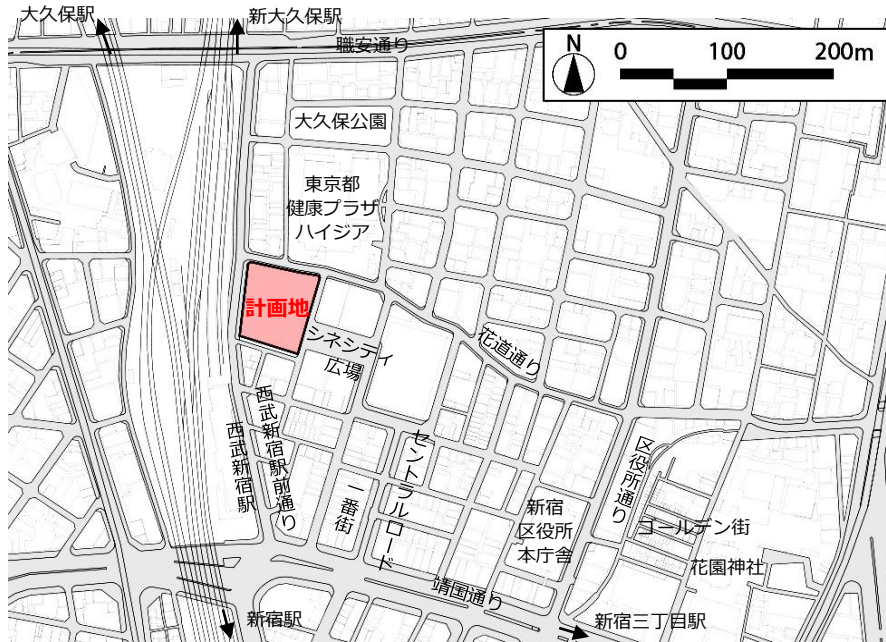
【別紙】

『歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿 TOKYU MILANO 再開発計画)』

■計画概要

所在地	東京都新宿区歌舞伎町一丁目29番	主要用途	宿泊施設、エンターテインメント施設、店舗、駐車場等
階数/高さ	地上40階・地下5階/約225m	延べ面積	約85,800㎡
敷地面積	約4,600㎡	竣工(予定)	2022年度
着工(予定)	2019年7月		

■計画地



■都市再生への貢献

**[1] まちの核となる新たな都市観光拠点の創出**

- ①多様な大衆娯楽文化を世界に発信する複合エンタメ施設の整備
- ②シネシティ広場と施設が一体となったにぎわい空間の形成
- ③多様な人を受け入れる宿泊施設の整備

**[2] まちの回遊性とにぎわいを創出する都市観光インフラの整備**

- ①交差点改良とバス乗降場整備によるバスルートの形成
- ②歩行者ネットワークの強化とまちのにぎわいの創出

**[3] 環境負荷低減、安心・安全に配慮したまちづくりの推進**

- ①環境負荷低減への取組
- ②防災性向上への取組

